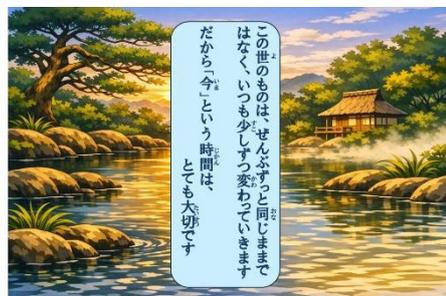


「この世のものは、ぜんぶずっと同じままではなく、いつも少しずつ変わっていきます」
「だから「今」という時間は、とても大切です」という思いが伝わってきます。

私は、「ゆく河」を120年続いた千束小学校に置き換えて考えました。

千束小学校は120周年です。120年間、変わらない川の流れと同じようにここにあり続けました。でも、ここで勉強している子供たちも先生たちも、毎年入れ替わっています。「昨日の自分」より「今日の自分」の方が賢く成長しているのですから、昨日の千束小と今日の千束小では違うと言えます。変わっていくことには寂しさも感じます。先週、6年生を送る会を行いました。6年生は、もうすぐ千束小学校を卒業していきます。とても寂しく感じます。でも、川のように変わらずあり続けることに心強さを感じます。卒業しても、戻って来られる場所であり、みんなで集まることもできる場所でもあります。



この世のものは、ぜんぶずっと同じままではなく、いつも少しずつ変わっていきます。だから「今」という時間は、とても大切です。

120周年を迎えた千束小学校の中で、毎日変化、成長していることを自分自身で感じ、確かめながら、残り1か月の学校生活をがんばっていきましょう。



千束小学校も絶えずして、6年生が卒業していくのは寂しいですが、千束小学校がずっとあり続けるのは心強いものです。



毎日、成長していることを自分自身で感じながら、残り1か月の学校生活をがんばっていきましょう。